

◆5分以内の対応が重要！迷ったらアドレナリンを打つ！

◆血管迷走神経反射だとしても大丈夫！

第一印象評価

A 気道

☐ 発語の有無
☐ 異常な呼吸音

B 呼吸

☐ 呼吸様式
☐ 姿勢

C 循環

☐ 顔色、皮膚色
☐ 冷汗

D 意識

☐ 意識
☐ 表情E ☐ 全身観察

【全身の症状】

- ☐ ぐったり
☐ 意識もうろう
☐ 尿や便を漏らす
☐ 脈が触れにくいまたは不規則
☐ 唇や爪が青白い(顔色不良)

【呼吸器の症状】

- ☐ のどや胸が締め付けられる
☐ 声がかすれる
☐ 犬が吠えるような咳
☐ 息がしにくい
☐ 持続する強い咳き込み
☐ ゼーゼーする呼吸

(ぜん息発作と区別できない場合を含む)

【消化器の症状】

- ☐ 持続する強い(がまんできない)
お腹の痛み
☐ 繰り返し吐き続ける

このうち1つでもあれば
アナフィラキシーを疑って！

【皮膚の症状】

- ☐ かゆみ
☐ じんま疹
☐ 血管性浮腫
☐ 顔面紅潮

皮膚症状は
アナフィラキシーの
判断には
使わない！

ワクチン接種後に、ぐったりしている人がいたら

- ☐ 1 「ぐったりしている人がいます。医師と看護師は全員来てください」
☐ 2 ストレッチャーで救急対応ブースへ移動
☐ 3 患者を仰臥位にして、下肢挙上(30cm程度)



- ☐ 4 躊躇なく、救急車を要請
☐ 5 「フェイスマスクで酸素10L(/分)投与してください」
「SpO2モニター装着してください」
「アドレナリン0.5ml 吸っておいてください」
☐ 6 医師はあわてずABCDEの一次評価を

ショックはまず頻脈で気づくこと！

成人100回/分

収縮期血圧測れたら、成人90mmHg未満は低血圧

- ☐ 7 アナフィラキシーを疑ったら(迷う場合にも)

アドレナリンを大腿前外側部に服の上から筋注

アドレナリン 投与量 ▶ 5分毎に筋注を反復OK

成人

0.5 ml

- ☐ 8 救急車の到着まで、一次評価を繰り返しアドレナリン筋注反復を！
必要なら心肺蘇生。

注意：無理してやろうとしないこと
 ×血管確保 ×血圧測定 ×アドレナリンの静注

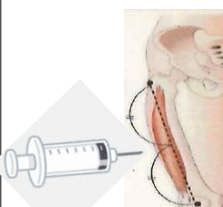
メモ

【確知時】

血圧 / mmHg
 (測定不能)
 (脈拍触知不能)
 SpO2 %
 HR

【アドレナリン5分後】

血圧 / mmHg
 (測定不能)
 (脈拍触知不能)
 SpO2 %
 HR



筋注は大腿前外側部

【搬送前】

血圧 / mmHg
 (測定不能)
 (脈拍触知不能)
 SpO2 %
 HR